

BCAO静岡地域勉強会 活動報告

2009年4月21日

特定非営利活動法人 事業継続推進機構(BCAO)
静岡地域勉強会

活力あふれる静岡県の 状況を紹介します。

1 静岡県 の 概 況

- (1) 静岡県の人口と経済規模
- (2) 静岡県の産業と経済の状況
- (3) 活発な企業立地
- (4) 東海地震対策

富国有徳 創知協働

しずおかの挑戦。



※ 本資料の文責は勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

(1) 静岡県の人口と経済規模

全国の3%を占める人口、経済



人口	380万人	全国10位 (平成19年)
県内総生産	16兆4,151億円	全国10位 (平成17年度)
1人当たり 県民所得	3,344千円	全国3位 (平成17年度) (第1位東京都、第2位愛知県)



※ 本資料の文責は勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

(2) 静岡県の産業と経済の状況

全国有数の経済基盤～日本経済を牽引するものづくり県～

●製造品出荷額等

◆18兆2,347億円 全国3位 (平成18年)

◆バランスのとれた産業構造

(単位：億円)

区分	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
静岡県	161,851	159,638	166,998	173,227	182,347
全国シェア (全国順位)	6.0% (3位)	5.8% (3位)	5.9% (3位)	5.9% (3位)	5.8% (3位)

●有効求人倍率

◆1.09倍 全国0.89倍 (平成20年7月)

◆平成16年6月から連続して1倍台で推移

(単位：倍)

区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年7月
静岡県	1.08	1.17	1.24	1.20	1.09
全国	0.86	0.98	1.06	1.02	0.89

※平成16～19年度は年度平均、20年は7月末現在

製造品出荷額等(平成18年)



※ 本資料の文責は勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

(3) 活発な企業立地

企業立地**全国1位**
100件突破は静岡県のみ



企業立地件数	124件	全国1位 (平成19年)
外資系企業立地件数	24件	全国1位 (平成元~18年累計)

◇企業が静岡県を選択した理由

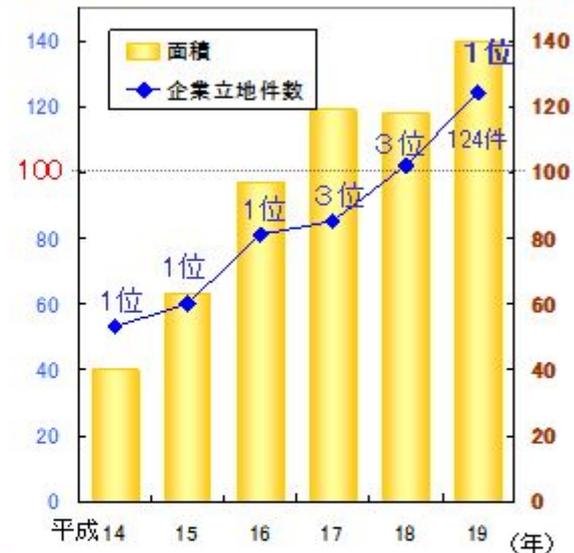
良好な立地環境

- ・交通アクセスの優位性(東名高速、新幹線、優良港湾など)
- ・関連企業の集積(地元企業の高い技術力)
- ・安価な用地、温暖な気候、豊富な水資源

積極的な企業誘致の取組

企業立地件数(件)

面積 (ha)



外資系企業立地件数(平成元~18年累計)

区分	全国	静岡県	全国シェア	全国順位
全体	32,284件	1,126件	3.5%	8位
外資系	235件	24件	10.2%	1位

(立地:1,000㎡以上の土地取得、外資比率50%以上)「工場立地動向調査」経済産業省

※ 本資料の文責は勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

(4)東海地震対策

東海地震は「都市直下型の海溝型巨大地震」

静岡県の第3次地震被害想定では

静岡県民の生活圏のほぼ全域が
震度6強～7の大きな揺れに

本震直後から激しい余震も多発

沿岸では地震直後から大津波が襲来

静岡県内全域が
同時多発・広域激甚災害に

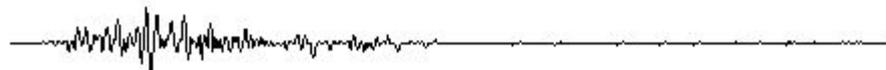
建物被害

- ・大破 19万棟
- ・中破 29万棟

人的被害

- ・死者 5,900人
- ・重傷者19,000人と想定

- ・ 内陸直下型地震の阪神・淡路大震災では、激しい揺れは10数秒程度
- ・ 海溝型の巨大地震である東海地震では、
激しい揺れは1分程度(地盤が軟弱であればそれ以上)



※ 本資料の文責は勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

全国トップ水準の地震対策



●S54～H19の29年間に1兆8,500億円を投資

病院・学校・社会福祉施設
の耐震化

小・中学校 1,394施設
社会福祉施設 189箇所

避難地、緊急輸送路、
消防・津波対策・山崩れ防止、通信施設 等

R&I 社コメント

東海地震についてはリスク要因のひとつと認識している。ただし、自治体・民間の震災に対する意識は非常に高く、自主防災組織率や耐震化率などは全国トップレベル。これまで県が取り組んだ地震対策事業は、防災拠点の整備、小中学校の耐震工事など総額1兆8000億円に達する。

●発災時の交通アクセスの確保

- ◆ 供用開始前の新東名高速道路を緊急輸送路として活用
- ◆ 清水港、御前崎港には耐震岸壁を整備
- ◆ 耐震性を備えた富士山静岡空港を空の防災拠点として活用

●災害時の財源確保

- ◆ 災害時の緊急的な資金需要に流用可能な基金
⇒ 約2,600億円確保
- ◆ 国による財政支援
⇒ 国庫補助率の高上げ、特別交付税ほかの地方財政制度の優遇措置等



耐震化

耐震化率

	静岡県(全国平均)	全国順位	100%達成 目標時期
全公共施設	78.6%(59.9%)	1位	平成 23年度末
小・中学校	86.4%(62.3%)	3位	
高等学校	83.0%(64.4%)	6位	
特別支援学校	99.1%(80.5%)	2位	平成 21年度見込み

※耐震化の数値は全公共施設は平成18年度末、その他は平成20年4月1日現在、学校は公立施設

●個人住宅耐震化の促進

- ◆ 県内全市町で耐震診断、耐震改修に対する補助制度整備

本県、兵庫県のみ

●企業減災に支援制度を創設

- ◆ 「静岡県事業継続計画(BCP)モデルプラン」を業種毎に策定
- ◆ 中小企業向けに、地震災害防止に必要な設備資金、運転資金の貸付制度を設置(耐震補強は優遇金利を適用)

都道府県で全国初

※ 本資料の文責は勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

災害発生時に業務を止めない 経営戦略の策定を！

2 静岡県のBCP策定支援策

- (1) 静岡県事業継続計画モデルプラン
- (2) BCP指導者養成
- (3) 地震災害防止対策資金

富国有徳 創知協働

しずおかの挑戦。



※ 本資料の文責は勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

(1) 静岡県事業継続計画モデルプラン

モデルプランの特徴

平成17年度

静岡県事業継続計画モデルプラン(製造業版)
事業継続計画(簡略編)策定手引き

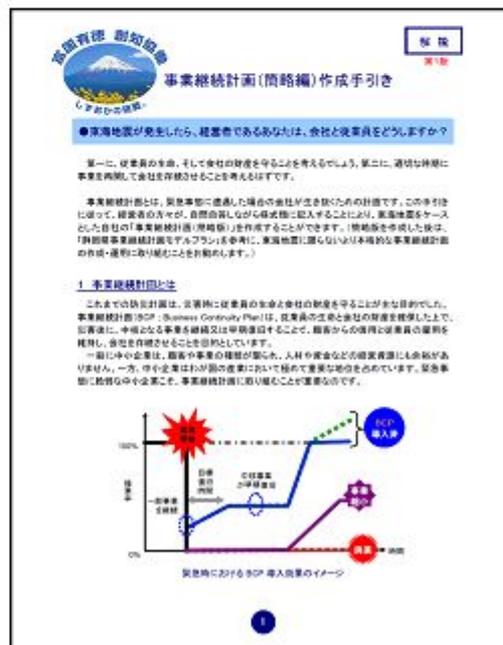
- ◆浜松地域の中小企業をケースとして検討
- ◆学識経験者、中小製造業経営者、浜松商工会議所、産業支援機関等で研究会を設置し検討

平成18年度

静岡県事業継続計画モデルプラン(商業版)
事業継続計画(簡略編)策定手引き
(パンフレット形式)

- ◆沼津地域の小売商店経営者のケース
- ◆地元自治会や近隣商店との連携を重視(防災マップの作成例等を掲載)
- ◆阪神淡路大震災での小売店の再開状況、商店街での取組みや復旧事例を例示

- 地域に合わせたプラン
 - ◆東海地震の被害想定を添付
 - ◆中小企業向け支援策を掲載
- 取り組みやすいプラン
 - ◆自己診断表を作成
 - ◆計画作成用記入シートを用意



※ 本資料の文責は勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

(2) BCP指導者養成

BCP策定の相談や指導ができる人材を養成

● 概要

◆ 中小企業のBCP策定への取組を支援するため、「BCP指導者養成講座」を開催し、BCP策定について、相談や指導ができる人材を養成。

◆ 開催日 平成20年6月11日(水)～8月1日(金)(4日間)
+フォローアップミーティング

◆ 会場 県地震防災センター(静岡市葵区駒形通)

◆ 産業支援機関等の推薦を受けた27名

日ごろから経営指導等で企業の相談・アドバイスに当たっており、講座終了後、企業の相談、セミナー講師等、普及活動ができる方。

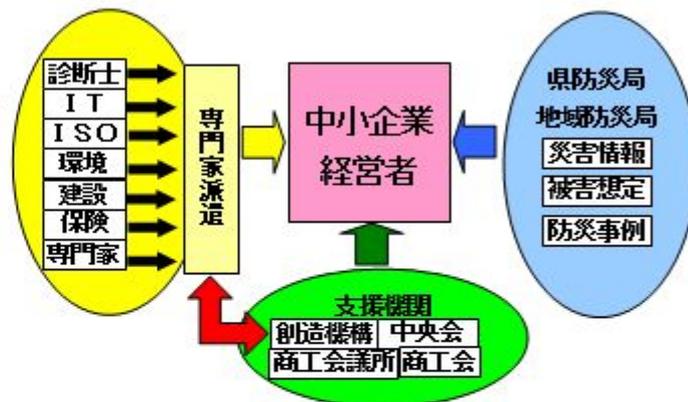
● カリキュラム

県モデルプラン及びBCPステップアップ・ガイドについて学習するとともに、東海地震被害想定、災害応急対策等BCP策定に必要な知識を習得。

● 本講座修了者の今後の活動

◆ 修了者を講師とした勉強会・セミナー等を開催

◆ BCP策定の指導・相談を受けたい場合
県ホームページで主な活動地域や連絡先を掲載
<http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-510/bcp/>



※ 本資料の文責は勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

(3) 地震災害防止対策資金

県制度融資の対象にBCPを追加

● 概要

- ◆ 中小企業者、組合の皆様が地震対策を行うために、必要な資金を融資
BCPの実施に必要な設備の導入、改善
事業用建物及び団障の建替え、改修、
機械、機具、商品等の転倒、転落防止
などに利用可能

● 融資条件（平成20年4月1日現在）

- ◆ 融資利率 年1.8%
(固定金利) 耐震補強※の場合 年1.1%
※機械設備の転倒防止、建物やブロック塀の改修など
- ◆ 融資限度額 1億円
- ◆ 融資期間 10年以内
- ◆ 据置期間 1年以内
- ◆ 保証料率 金融機関が必要と認めたときは、年0.3～1.3%

● 詳細は次の窓口へお問い合わせください。

- ◆ 県商工金融室、取扱金融機関、商工会議所、商工会、中央会、創造機構

※ 本資料の文責は勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

企業活動事例をホームページで公開

事業所の防災事例集

事業所の防災対策に関する様々な取組事例を紹介します。防災対策の参考にしてください。なお、事例は随時追加していく予定です。

最終更新日：平成21年3月26日

● 製造業

会社名	市町名	事例紹介
ジヤトコ株式会社	富士市	従業員の安全確保、地域との連携
株式会社ソロカップジャパン富士工場	富士市	避難経路図の作成と防災訓練
旭化成株式会社富士支社	富士市	津波対策と地域との連携
製紙工場…匿名希望	富士市	従業員の安全確保、地域との連携
日本軽金属株式会社化成品事業部清水工場	静岡市	地震対策マニュアル、課・係単位での防災訓練
豊田合成株式会社森町工場	森町	地域との連携、防災体制の工夫
富士酒株式会社沼津工場	沼津市	安全確保と事業継続・顧客への迅速な対応
富士フィルム株式会社富士宮工場	富士宮市	社員の安全確保と事業継続
フジオセックス株式会社	菊川市	ハード対策による安全確保
ヤマハ発動機株式会社	磐田市	早期復旧・地域との協働
アスモ株式会社	湖西市	緊急地震速報を導入した防災対策
磐田さぎさか工業団地協同組合	磐田市	工業団地全体で取り組むBCP（事業継続計画）
株式会社リズム	浜松市	地震による被害を最小限に防ぐため、職場防災隊を強化
株式会社ムラコシ	袋井市	シェルターで従業員の安全を確保
株式会社ソミック石川	浜松市	設備の固定、落下防止の徹底

● 卸売・小売業

会社名	市町名	事例紹介
御殿場プレミアムアウトレット	御殿場市	安全第一・施設資産の保全・営業維持
イオン株式会社中部カンパニー静岡事業部ジャスコ袋井店	袋井市	事業所と行政と地元とNPOのコラボレーション
株式会社さんかい食品	浜松市	自主防災組織の備蓄をサポート（地元自治会と協定締結）

※ 本資料の文責は勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

BCAOアワード2008 特別賞の受賞

BCAOアワード2008審査結果

特定非営利活動法人 事業継続推進機構(BCAO)は、日本の事業継続(BC)の普及に資するため、その普及及び実践に貢献した個人及び団体を表彰する「BCAO アワード 2008」の受賞者を、この度、下記のとおり決定いたしました。本アワードは、2006年度に創設され、今回が3回目の表彰となります。

4月21日(火)午後、東京代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて一般公開で表彰式を行い、多くの方に参考にしていただけるよう、7件の受賞者からそれぞれの内容についてご発表いただく予定です。

特別賞	静岡県産業部商工業局 商工振興室、静岡県 BCP 普及研究会殿の 「中小企業向けBCPの 普及活動」代表者：渥 美敏之様、池田浩敬様	地域の地震環境を踏まえたBCPの普及に積極的に取り組んでいること。県内の複数の地域をターゲットとし、各地域別・業種別のBCPモデルプランを作成し、中小企業を含めた普及に取り組んでいること。県内BCPの指導者の養成に取り組んでいること。
-----	---	---

※ 本資料の文責は勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

1. 静岡県事業継続計画モデルプラン
2. 静岡県BCP普及研究会
3. BCP指導者養成講座
4. BCPとはなにか？



震災対策技術展/自然災害対策技術展

Earthquake Technology Expo/Natural Disaster Recovery Technology Expo

静岡会場
大阪会場
宮城会場
横浜会場

報道コーナー
セミナー・講演会(静岡)
特別招待状(静岡)
お問い合わせ・資料請求

静岡会場



MENU [[開催のご挨拶](#) | [開催概要](#) | [出展募集要項](#) | [出展者一覧](#) | [セミナー・講演会](#) | [会場へのアクセス](#)]

大規模地震を想定した事業継続(BC)の取組みのポイントと課題

主催 富士常葉大学大学院 [詳細](#)

講師 池田浩敬 [お申込み](#)

富士常葉大学大学院 環境防災研究科 教授

1985年早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了、三菱総合研究所主任研究員を経て2001年同大学助教授、2006年より現職。博士(都市科学)、技術士(建設部門)。専門分野は、都市防災、都市計画、災害復興計画論
 静岡県BCP普及研究会 会長、「静岡県事業継続計画モデルプラン」(静岡県)「あいちBCPモデル」(愛知県)「中小企業BCPガイド」(中小企業庁)の策定等に携わる

シンポジウム・セミナー
日会場



開催概要

▶ 催事名	第1回「震災対策技術展/自然災害対策技術展」静岡
▶ 会期	2009年4月24日(金)~4月25日(土)
▶ 会場	ツインメッセ静岡
▶ 主催	第1回「震災対策技術展/自然災害対策技術展」静岡 実行委員会
▶ 開催内容	展示会/シンポジウム・セミナー/震災対策講演会

▶ 静岡県	準備中 - しばらくお待ち下さい。	出展内容
--------------	-------------------	----------------------

※ 本資料の文責は勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

特定非営利活動法人 事業継続推進機構 勉強会活動報告資料

13

Copyright © 2009 BCAO

活力あふれる静岡地域勉強会の 状況を紹介します。

3 静岡地域勉強会の概況

(1) 静岡地域勉強会の活動状況

(2) 今後の方向 BCP普及率No.1を目指して

(3) 今後の方向 来年度の目標

BCP普及率全国1位

静岡地域勉強会の挑戦。



※ 本資料の文責は勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

BCAO静岡地域勉強会 活動状況

回数	開催日	内 容
第1回	2008.8.1	発足会、意見交換会
第2回	2008.9.8	講演（細坪BCAO事務局長） ・ステップアップガイド改定の骨子説明 ・新型インフルエンザテキスト（PPT版）の説明 意見交換会
第1回 静岡セミナー	2008.10.24	講演（静岡県産業部商業局商工振興室 渥美室長、BCAO 細坪事務局長、 富士常葉大学 池田教授、富士常葉大学院 武田氏、BCAO 伊藤理事） パネルディスカッション（渥美氏、池田氏、伊藤氏、石井氏、細坪氏） テーマ「静岡県の事業継続普及にむけて」
第3回	2008.11.12	講演（奥山） ・事業継続マネジメントシステムの構築と実践 意見交換会
第4回	2008.12.5	静岡セミナーアンケート結果報告 BCAO本部活動報告 意見交換会
第5回	2009.1.29	会員活動報告 意見交換会
第6回	2009.3.17	地震リスク シミュレーション訓練 第1部 意見交換会
第7回	2009.4.14	地震リスク シミュレーション訓練 第2部 意見交換会
第8回（予定）	2009.5.15	地震リスク シミュレーション訓練 第3部 意見交換会

※ 本資料の文責は勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

静岡地域勉強会の風景



※ 本資料の文責は勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

今後の方向（静岡県をBCP普及率No.1にするには！）

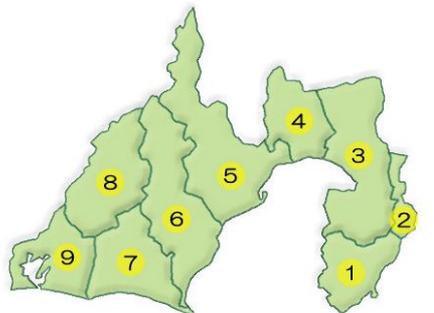
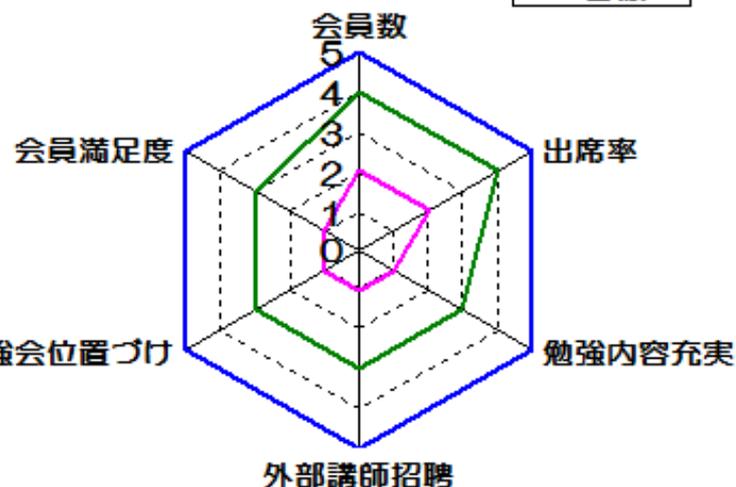
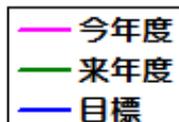


BCAO静岡地域勉強会が
支援を強化致します

※ 本資料の文責は勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

今後の方向 静岡地域勉強会 運営について

静岡地域勉強会 自己評価



東京	3
神奈川	1
静岡	6

熱海、三島、新富士、静岡、掛川、浜松

- 1. 下田総合庁舎
- 2. 熱海総合庁舎
- 3. 東部総合庁舎
- 4. 富士総合庁舎
- 5. 静岡総合庁舎
- 6. 藤枝総合庁舎
- 7. 中遠総合庁舎
- 8. 北遠総合庁舎
- 9. 浜松総合庁舎

項目	今年度	来年度目標	施策
会員数	19名	40名	商工会との共済セミナーを開催し参加をアピールする
出席率	50%	80%	開催場所を地域別に設定 左図を参照
勉強内容	意見交換	BCP作成	企業のBCP担当者間の交流や協業によるBCP作成実践
外部講師招聘	なし	2名以上	BCAO認定講師を招聘する
位置付け	立上げただけ	注目され見学者来訪	志を高く情熱を持って向かう
会員満足度	20%	50%	会員全員の相互協力で勉強会を盛り上げる

※ 本資料の文責は勉強会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

今後とも、静岡地域勉強会の
ご指導・ご支援
宜しくお願い申し上げます



特定非営利活動法人
事業継続推進機構
静岡地域勉強会

A Specified Non-Profit Japanese Corporation
Business Continuity Advancement Organization (BCAO)